

地域差による被服の特徴

磯井佳子・角野幸博

(武庫川女子大学家政学部被服学科)

Characteristics of Clothes and Personal Effects Locality

Keiko Isoi and Yukihiro Kadono

Department of Textiles and Clothing Sciences, Faculty of Home Economics,

Mukogawa Women's University, Nishinomiya 663, Japan

The clothes and the personal effects with people who lived in or went out to each place were studied as the factors to give the influence on forming the impression of the locality. Nine stations between Osaka and Kobe were adapted as the places giving the different impression.

The results showed were found in 32 among 80 categories and they made the characteristics of seven stations clear. Then, the tendency of clothes and personal effects with each people along three railways was compared and their classification based on each tendency was obtained.

緒 言

人々が住まい集う地域や街は、高級住宅街・下町・若者の街・眠らない街など様々な印象を持っている。この印象は、住宅地・商業地・工場地であるかなどの住宅環境、所得が高い・低いなどの経済的環境、そこに住む人・集う人の価値観などによって形成される。

本研究では人が着用している衣服の種類や持ち物(被服)の違いが、地域の印象形成に影響を与えるのではないかと考えた。そこで住む人や集う人の衣服を種類別・地域別に分類し、印象の異なる地域には被服の種類に差があるかを検証した。

調査概要

1. 調査対象地域

調査対象とする印象が異なる地域として、阪神間を結ぶ交通機関の沿線の駅を9駅選んだ。9駅の駅名と調査試料数を表1に示す。

2. 調査日時

平成4年11月8日(日)午後1時～3時30分

3. 天候

快晴

4. 調査方法

写真撮影法:写真は望遠レンズを用い、通行中の成人女性を5分間に6人撮影する。成人女性を対象とした理由は、被服の種類が豊富で駅間の差が大きいと考えたからである。

5. 被服の評価アイテムとカテゴリー

評価はA. 衣服の種類からK. 靴の種類までの11アイテム、各アイテムは各々カテゴリーに分類され、評

Table 1. The Sample of Investigation

Hankyu		JR		Hanshin	
Station	Sample	Station	Sample	Station	Sample
Okamoto	118	Ashiya	135	Kôshien	141
Mukonosô	122	Tachibana	123	Amagasaki	138
Tsukaguchi	132	Inadera	110	Kuise	124
		Total	1143		

価分類したカテゴリー数は 80 である。

A. 衣服の種類

1. 上下(トップとボトム)セパレート, 2. パンツスーツ, 3. スカートスーツ, 4. ワンピース, 5. コート

B. 上衣(トップ)の種類

1. 衿有りジャケット, 2. 衿無しジャケット, 3. セーター, 4. カーディガン, 5. ブラウス, 6. シャツブラウス, 7. トレーナー, 8. パーカー, 9. ジャンパー, 10. G ジャン, 11. フード付きジャンパー, 12. ベスト

C. 上衣(トップ)の色

1. モノトーン, 2. ディープ, 3. パステル, 4. ビビット

D. 上衣(トップ)の柄

1. 無地, 2. トリミング, 3. ワンポイント, 4. チェック, 5. 縞, 6. ニット地模様

E. 下衣(ボトム)の種類

1. タイトスカート(ストレートタイプ含む), 2. フレアスカート, 3. プリーツスカート, 4. ジャンパースカート, 5. キュロットスカート, 6. スラックス, 7. チノパン, 8. スエットパンツ, 9. ジーパン

F. スカート丈

1. ミニ, 2. 膝丈, 3. 膝下(ミモレ), 4. ロング

G. 下衣(ボトム)の色

1. モノトーン, 2. ディープ, 3. パステル, 4. ビビット, 5. プリーチブルー

H. 下衣(ボトム)の柄

1. 無地, 2. トリミング, 3. ワンポイント, 4. チェック, 5. 縞, 6. ニット地模様

I. 持ち物個数

1. 0, 2. 1, 3. 2, 4. 3, 5. 4, 6. 5, 7. 6個

J. 持ち物種類

1. 紙袋, 2. ビニール袋, 3. ディバッグ, 4. ポストンバッグ, 5. ハンドバッグ, 6. ミニバッグ, 7. ショッピングバッグ, 8. ショルダーバッグ, 9. ウェストバッグ, 10. 財布, 11. セカンドバッグ

K. 靴の種類

1. 運動靴, 2. ローファー(タッセル・モカシン), 3. パンプス, 4. オペラ(イブニング)パンプス, 5. オックスフォード(チャッカー・ワラビー), 6. エスパリーユ(コンドラト), 7. サイドゴア(モンク), 8. ウォーキング(キルト)シューズ, 9. ストラップ, 10. ブーツ, 11. スリッパ

結果・解析

阪神間の9駅の成人女性の写真1143枚は、11のアイテムについて各々どのカテゴリーに属するか分類された。分類された試料は、駅ごとに各カテゴリーの出現の度合いを比率で表した。この出現度合の比率を用いれば、例えばセーターを着ている人が、尼崎駅では15%で芦屋駅では32%であったとすると、その比率の大きさから芦屋駅の方がセーターを着ている人が多いと判断できる。しかしながら、このままではその差が有意であるかの判断はできない。そこで、カテゴリーの出現の度合いが有意に多いあるいは少ない駅を選ぶために、比率の検定を行う。比率の検定は、各カテゴリーの平均出現比率 p と各駅の出現の度合いすなわち実測比率 r を用いて、次式により行う。

$$\frac{|r-p|}{\sqrt{p \cdot (1-p)/n}} = |Z| \quad (1)$$

アイテム A. 衣服の種類について駅ごとに集計した度数と実測比率 r を表2に、比率の検定結果を表3に示す。比率の検定の結果、危険率が1%で有意な場合は**、5%で有意な場合は*で示した。

各カテゴリーの合計度数が全体の5%に満たないものは、高い解析精度を得られない(データの信頼性が低い)ため、考察から除く。表2アイテムA「衣服の種類」の場合は、カテゴリー1(セパレート)・3(スカートスーツ)が全体の5%以上を占めるので、表3の比率の検定結果はこの2つのカテゴリーについて見る。1カテゴリー「セパレート」では、尼崎駅の実測比率は64%・平均出現比率81%・危険率1%で有意であることからセパレートが少ない。また、3カテゴリー「スカートスーツ」では、尼崎駅の実測比率は27%・平均出現比率13%・危険率1%で有意であることからスカートスーツが多い。このことから尼崎駅は、上衣とスカートが共布の衣服(スカートスーツ)が多く、上衣と下衣(スカート)をコーディネートしている衣服が少ないことが分かる。

このようにして、全アイテム・カテゴリーについて検討を行った結果を表4に示す。表中の丸印は危険率1%・5%で有意な差があり、白丸(○)は実測比率が大きいことを、黒丸(●)は実測比率が小さいことを示す。表4から岡本駅と杭瀬駅が丸印の数が少なく、被服を分類する各カテゴリーの出現の実測比率が平均値に近く、際だった特徴がないことを示す。逆に芦屋駅と猪名寺駅は丸印が多く、特徴的な駅であることが分かる。そこで、岡本駅と杭瀬駅を除く7駅の被服から、推定できる特徴を次にあげる。

Table 2. Frequency and Ratio for the Type of Clothes(Item A)

Category Station	1 Separates	2 Pants suit	3 Skirt suit	4 One-piece	5 Coat
Okamoto	97(0.84)	0(0.00)	13(0.11)	6(0.05)	2(0.02)
Mukonosou	105(0.86)	0(0.00)	10(0.08)	2(0.02)	5(0.04)
Tsukaguchi	116(0.88)	0(0.00)	12(0.09)	3(0.02)	1(0.01)
Ashiya	103(0.76)	5(0.04)	23(0.17)	0(0.00)	4(0.03)
Tachibana	103(0.84)	0(0.00)	14(0.11)	0(0.00)	6(0.05)
Inadera	96(0.87)	1(0.01)	8(0.07)	0(0.00)	5(0.05)
Koushien	118(0.84)	0(0.00)	17(0.12)	3(0.02)	3(0.02)
Amagasaki	88(0.64)	4(0.03)	37(0.27)	3(0.02)	6(0.04)
Kuise	105(0.85)	0(0.00)	13(0.10)	3(0.02)	3(0.02)
Total	931	10	147	20	35

武庫之荘駅:スーパーや市場などの近場の買物帰りではない。

持ち物の個数は複数が少ない。スーパーなどのビニール袋を持っている人が少ない。

塚口駅:ミニ丈のスカートが多い。ショッピングバッグが少ない。

若者が多い。

芦屋駅:ビビッドなカラーが多い。セーターとタイトなスカートが多い。ジャンパー・キュロットスカートやジーパンが少ない。靴はパンプスが多く、運動靴が少ない。

華やかな女らしさ。

立花駅:トレーナーが多い。持ち物は一個が多く、ショッピングバッグである。

スーパーや市場など近場の買物。

猪名寺駅:フレアーのロングスカートが多い。衿有りのジャケットやタイトスカートが少ない。ジャンパーが多い。靴はサイドゴア(モンク)が多い。

フェミニン派とカジュアル派に分化。

甲子園:衿有りジャケットとキュロットスカートが多い。靴はパンプスが少ない。スポーティー

尼崎駅:スーツが多くセパレートが少ない。ディープカラーが少なくパステルカラーが多い。ありふれた既製のスタイル。

駅ごとの被服の分類から、80 カテゴリー中32 カテゴリーに有意な差が見られ、48 カテゴリーには有意な差が見られなかった。

また阪神間では、交通期間の沿線別に印象が異なり、阪急電車・JR・阪神電車の3線のうち、北側に位置する線の駅ほどステータスが高い(高級・上品)と思われている。これら印象の違いを衣服の種類や持ち物のアイテムから明らかにするには、9駅を個別に扱うより沿線別に考える方が有意な差が見られると考え、沿線別に集計を行った。沿線別の被服の実測比率から、駅別の場合と同様に検定を行った結果、危険率1%・5%で有意な差があるカテゴリーは、次に示すとおりであった。

- A. 衣服の種類:阪急沿線がセパレートが多く、阪神沿線が少ない。
- B. 上衣の種類:JR沿線では衿有りのジャケットが少ない。
- E. 下衣の種類:JR沿線ではキュロットスカートが少ない。
- F. スカート丈:阪急沿線ではミニが多く、膝下が少ない。
- H. 下衣の柄:阪神沿線では無地が少ない。JR沿線ではチェックが少ない。
- K. 靴の種類:阪急沿線がオックスフォードが多い。

沿線別に検定した結果、80 カテゴリー中8 カテゴリーに有意な差が見られた。駅別よりも沿線別の方が、有意となるカテゴリー数が少ないが、次のようなことを推定できる。

阪急沿線は、衣服の種類はセパレートでスカート丈はミニ、靴はオックスフォードというアイテム・カテゴリーから、若い被服センスの人が多い。

JR沿線は衿有りのジャケット、キュロットスカートやチェック柄が少ないことから、女らしい被服の人が多い。

阪神沿線では衣服の種類がセパレートが少ないことから、衣服のスタイルは既製的で応用性が低い。柄は無地が少ないことから、シンプルさが低い被服である。

Table 3. Test of Ratio for the type of clothes (Item A)

Category Station	1 Separates	3 Skirt suit
Okamoto	0.21	0.60
Mukonosou	1.31	1.54
Tsukaguchi	1.90	1.29
Ashiya	1.54	1.45
Tachibana	0.65	0.49
Inadera	1.57	1.75
Koushien	0.68	0.29
Amagasaki	5.34**	4.90**
Kuise	0.92	0.79

* : 5% Significance; ** : 1% Significance

地域差による被服の特徴

Table 4. Test of Ratio for each Category

Item Category	A		B				C				D			E				
	1	3	1	3	7	9	1	2	3	4	1	3	4	1	2	5	6	10
Okamoto																		●
Mukonosou																		
Tukaguchi																		
Ashiya				○		●	○			○					○		●	●
Tachibana					○				○									
Inadera			●			○							●	●	○			
Koushien			○								●				○			
Amagasaki	●	○		●				●	○									
Kuise												○						

Item Category	F				G		I		J		K				Total	
	1	2	3	4	2	3	2	3	2	7	1	3	5	7	○	●
Okamoto													○		1	1
Mukonosou			●				○	●	●						1	3
Tukaguchi	○		●							●					1	2
Ashiya										●	●	○		4	5	
Tachibana							○			○				4	0	
Inadera		●		○									○	4	4	
Koushien							●		●			●		2	4	
Amagasaki					●	○								3	4	
Kuise														1	0	

○ : The Large Number of Ratio; ● : The Small Number of Ratio

阪神間の9駅には、衣服の種類や持ち物の(被服)の違いがあることを明らかにした。また9駅を交通機関の沿線別に集計すると衣服の種類や持ち物の違いから、3沿線別の異なる被服スタイルを推定できた。

この報告の一部は、1993年ファッション環境学会第2回大会で口頭発表したものである。

謝 辞

この研究の実施に際し、ご協力いただいた尼崎市の未来協会に感謝致します。また被服の分類に専門家としてご教示いただいた、神戸芸術工科大学小田順子教授に感謝致します。